

## 第一章 勝ち続ける力

- 01 型にはまらず幅を広げる努力を続ける 16
- 02 絶好調と感じる時は維持することを心がける 18
- 03 ツキに頼らず自分を信じ努力する 20
- 04 成果を上げたければ周囲の信用を勝ち取れ 22
- 05 過去は過去 未来のために変わり続ける 24
- 06 勝っている時こそ変わらなければならぬ 26
- 07 守りに入るな 未来のために攻めの精神を 28
- 08 何かを捨てなければ前に進めない時がある 30
- 09 時代に合わせても迎合はしない 32
- 10 決断の結果と責任は自分で持つ 34
- 11 勝利への強い思いよりも負けたくないという気持ち 36

- 12 準備を怠ることは敗北の言い訳を用意すること 38
- 13 大切なのは強くあり続けること 40

## 第二章 考える力

- 14 教わるのではなく自分で考えることが大切 44
- 15 「自力」で考えることが「地力」になる 46
- 16 「あと少し」時間をかけて考える習慣を身につけよう 48
- 17 知識は皆同じだからこそ何を選びどう使うかが大切 50
- 18 相手の立場に立ち相手の価値観で考える 52
- 19 簡単に手に入れたものは簡単に失われる 54
- 20 知恵は借りるが決断するのは自分自身 56
- 21 強くなるための4つのプロセス 58

- 22 少し強いくらいのプラス思考がちょうどいい 60  
 23 「創造」は真似から始まり理解する過程で育まれる 62  
 24 「見切る力」と「決断する力」を大切に 64  
 25 尊敬があつてこそ真のライバルになる 66

## 第二章 失敗を活かす力

- 26 反省よりも「今すべきこと」に集中する 70  
 27 大切なのは敗北から何を学ぶか 72  
 28 反省したら即切り替えて次へ進む 74  
 29 負けることで人はより強くなれる 76  
 30 負けるにも「負け方の哲学」がある 78  
 31 背負い過ぎずしかし感謝は忘れずに 80

- 32 不調の本当の原因は何か正しく見極める 82  
 33 自分の望み通りにものごとは進まないもの 84  
 34 不調も次に進むための必要な「プロセス」 86  
 35 ミスはすぐに忘れて「今」だけを考える 88  
 36 相手の力を活かし自分の力に変えていく 90  
 37 経験こそが最良の成長の糧 92  
 38 感情に左右されず今、何をどうすべきか 94  
 39 現在進行形の自分にできることをやる 96  
 40 敗北を年齢のせいにならず常に実力を磨き続ける 98

## 第四章 リスクを取る力

- 41 目先の利益よりも長い目で考える 102

42	真剣勝負だからこそ試す価値がある	104
43	最初の一步を踏み出せば物事は動き始める	106
44	一発逆転は狙わない地道に差を縮めよう	108
45	「待つこと」「何もしないこと」も大切な手段	110
46	経験の思い込みはしない経験を活かす力を身につけよう	112
47	たとえ結果が出なくとも挑戦し続ける	114
48	勝負が決まるその瞬間まで絶対に油断はしない	116
49	リスクが高いかどうかは自分自身の理解次第	118

## 第五章 継続する力

50	「続ける力」が一番の才能	122
51	勝てない時こそ「本当の好き」が試される	124
52	「経験」という物差しが挑戦を支える	126
53	楽しめなければ最大限の力は発揮できない	128
54	厳しい現実を知ったからこそ覚悟が決まる	130
55	本当に好きなら心底辛い時でも頑張れる	132
56	違う世界に触れると新たな道が拓ける	134
57	努力が実を結ぶには時間がかかる	136
58	結果に一喜一憂せず内容を大切にす	138
59	時間のノルマに縛られず「やるべきこと」をやる	140
60	「集中力」は訓練で身につける	142
61	遊びたいならただ純粹に遊べばいい	144
62	一見無駄なことにも全力を尽くす	146
63	小さな達成感の積み重ねが大きな自信になる	148
64	不安に耐え自分を信じて突き進もう	150

- 65 強くなりたければひたすら練習あるのみ 152
- 66 練習は単調にならずに工夫しながら続けよう 154
- 67 基礎基本があつてこそ正しい道を歩める 156
- 68 学び方の工夫次第でいくつになっても成長できる 158

## 第六章 情報を活かす力

- 69 情報に頼りすぎず自分の頭で考える 162
- 70 悩んだら先人の言葉や経験から学べ 164
- 71 強くあり続けるために常に知識をアップデートする 166
- 72 自分の常識を疑え 168
- 73 情報は常に「取捨選択」を心がける 170
- 74 情報過多は時にひらめきの邪魔をする 172

- 75 知識は使いこなしてこそ「知恵」に変わる 174
- 76 「忘れること」は悪いことではない 176

## 第七章 歴史をつくる力

- 77 目標よりも「志」を大切に 180
- 78 AIの評価は絶対ではない 182
- 79 自分のためでなく「将棋の未来」のために 184
- 80 未来に何かを残すことは今を生きる者の務め 186